

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2020年1月27日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	東郷町役場	代表者名	木本 清彦
担当者部署	企画部	連絡先電話番号	0561-56-0717
担当者役職		担当者氏名	
住所	470-0198 愛知県東郷町大字春木字羽根穴1番地		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	浦田 真由
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	各市町が所有する画像を、オープンデータ化する意義や注意すべき点、そして実際にデータ化するためのソフトやコンテンツなどを紹介してもらった。また、途中でクイズなどを挟むことでオープンデータ担当ではない観光、広報担当者にも分かりやすい講義であった。
アドバイザーへの要望事項	なし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2020年1月24日	14時00分	16時20分	10	130
3-2. 派遣場所	会場名	東郷町役場		最寄駅	赤池駅
	所在地	愛知県愛知郡東郷町大字春木字羽根穴1番地			
	最寄駅からの交通手段	名鉄バス 豊田市駅行きに乗車。「和合」バス停にて下車。徒歩1分			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	7市町オープンデータ推進会議の構成市町他希望のあった市区の職員	22 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	各市町が保有している沢山のデータをオープンデータとして公開する際の注意点と、その方法の情報共有。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	多くの住民、企業、団体が写真データを活用してもらえるよう、各市町が所有する画像をオープンデータ化すること。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	オープンデータ推進会議研修会として、オープンデータ担当職員と画像を管理する職員に画像のオープンデータ化に向けたノウハウやアドバイス、注意する点などといった支援を受けた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	画像のオープンデータ化という、新たなオープンデータの活用について学べたことは、今回の参加団体にとって、大きな前進であった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 具体的な成果物はないが、画像のオープンデータの活用方法と注意すべき点など、画像のオープンデータ化の実現に向けた様々な事柄について学ぶことができた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	なし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回、オープンデータ担当職員だけでなく観光、広報担当も参加して、具体的に画像データのオープンデータ化を学ぶということで、アンケートは実施していません。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	今回の研修を受け、各参加団体において今後のオープンデータ推進に向けた計画の策定を検討します。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

